

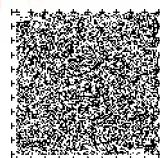
第4次

所沢市障害者支援計画

障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画



平成30年3月
所沢市



はじめに



「福祉」という言葉の、「福」も「祉」も、それぞれ「幸せ」という意味があるのですね。だから、よく使われる「市民福祉」という言葉には、すべての施策が含まれてしまうのです。教育や環境も街づくりも賑わいづくりも、そして、あったらいいな、的な生活支援のレベルの施策もです。

でも、少子高齢化で施策のやりくりが厳しい時代には、その中でも本当の「福祉」、それも福祉のコアな部分をこそ、大切にしなければなりません。

「障害がある」とは自らの努力では如何ともしがたいものであります。だから、福祉の中の福祉、コアな部分にあたるでしょう。

一方、障害は加齢とともに、誰もが皆、いつの時期かに通るひとつのステージなのだとして理解されるようになり、障害者福祉が社会にとって、より身近になるべきものともなってきました。そういう点で、施策の展開は言わずもがな、人と人とが絆で支え合い、一人ひとりが人間力を発揮する社会を築いていくことも私たちの使命であると考えます。

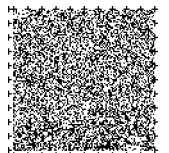
本市では、障害のあるなしにかかわらず、誰もが共に支え合い、認め合い、笑顔でいきいきと地域で自立して生活できる共生社会の実現を目指す「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」を制定し、ハード面・ソフト面の両面からマチの中のバリアフリーが促進された、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指していきます。

この度策定した、「第4次所沢市障害者支援計画」は、「ふれあい 寄り添い 支えあい 共に生きるまち ところざわ」を基本理念に掲げ、条例の理念に基づき、障害のある人が地域の中で安心して自立した生活を送ることを念頭に置いた計画づくりに努めました。市は本計画に基づき、関係部署・関係機関が一体となって障害者施策を進めてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、所沢市障害者施策推進協議会、所沢市自立支援協議会の各委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提案をいただいた市民の皆様、各種団体、相談員、事業所の方々に心からお礼を申し上げます。

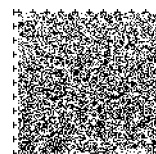
平成30年3月

所沢市長 藤本 正人



目次

第1章 計画の基本的事項.....	1
第1節 計画の基本的な考え方	2
1 策定趣旨	2
2 計画の背景と目的	3
3 計画の性格と位置づけ	4
4 計画の期間	5
5 計画の対象	5
第2節 障害者の現況	6
1 障害者数の状況	6
2 就労等の状況	15
3 アンケートの概要	18
第3節 計画の基本理念	20
1 基本理念	20
2 基本的な考え方	20
第2章 施策展開.....	21
第1節 施策の内容	22
1 差別解消と権利擁護の推進	24
2 社会参加の促進と協働の推進	28
3 自立した生活の支援	32
4 保健医療の充実	36
5 育ちと学びの充実	40
6 雇用・就労の促進	44
7 情報アクセシビリティの向上	48
8 安心・安全なまちづくり	52
目標・指標一覧	56
障害者作品展の受賞作品の紹介	57



第2節 障害福祉サービス等の目標値・見込量	58
1 計画の目標値	59
2 福祉サービス等の見込量	62
第3章 ライフステージを通じた支援	71
第1節 ライフステージの考え方	72
1 ライフステージの設定	72
2 求められている支援の考え方	73
第2節 ライフステージごとの支援	74
1 乳幼児期（0歳～6歳）の支援	74
2 学齢期（7歳～17歳）の支援	76
3 青壮年期（18歳～64歳）の支援	78
4 高齢期（65歳以上）の支援	80
第4章 計画の推進体制	83
1 関係機関等との連携	84
2 障害者等の参画	84
3 計画の達成状況の点検及び評価	85
資料編.....	87
1 所沢市の主な取組	88
2 計画の策定経過	90
3 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例	94
4 障害児に関する数値一覧	104
5 アンケート票	107

